

28番（富永起雄君）〔登壇〕

議長より発言の許可を得ましたので、通告に従い質問をいたしたいと思います。

その前に、昨夜10時より、前田議員も言われたように、サッカーのワールドカップ・ドイツ大会、日本対オーストラリア、興奮して最後まで見ておりましたけど、負けてがっかりいたしました。しかし、久しぶりの愛国心が芽生えたところでございます。次の6月18日のクロアチア戦は、市長の計らいか、また、パブリックビューイング in 武雄実行委員会と各種団体の努力や競輪事業課の思いやりのおかげで、競輪場で大型テレビジョンにて観戦ができることになりました。サッカーファンの一人として、ぜひ見に行き応援をいたしたいと思っております。

去る6月10日、文化会館にて、県PTAの連合会総会が700人以上の参加で開催されました。私はPTAのOBとして、最近の社会問題として早急に対応しなければならないことに心配をしております。

つい最近、秋田県の能代市の小学生の事件で、犯人は子供の遊び仲間だった人の母親であるということが、毎日毎日テレビで放映されております。本当に子供を持つ親は、不安でたまらないと思っております。

この大会で、活動方針として、安全教育の強化と安全保障の充実を図るとし、学校や保護者だけでなく、地域と一体となり安全確保に取り組もうとなりました。

しかし、最近の社会問題として早急に対応しなければならないのは、子供が両親を殺害する事件が多発し、加害者はニートと言い、仕事好かずで働く意欲がない。また、前は無職少年とかいろんなことを言っておりましたけど、本当に最近ではテレビの放送、新聞のあれで「ニート、ニート」と言い、私も最初はわかりませんでしたけど、本当に働く気がない、将来を考えない、生活は親が見る状況でありまして、結婚もしない、気もない若者たちで、まだ18歳から34歳、全国に65万人ぐらいはいるそうであります。

私は、この子供たちが、ニートのおかげと言ったらいけませんけど、この少子化対策、また年金問題や高齢化社会を考えると心配でたまらなくなります。

ここで、市長の具約42の中の17番目のニート対策の中で、「学校ハローワーク」を市内中学校にスタートすると記されております。内容と時期が19年となっておりますけど、やっぱり早急に、この辺は心配いたしますから少しでも早くできるものかどうか、お聞きいたしたいと思っております。

議長（杉原豊喜君）

庭木教育長

庭木教育長〔登壇〕

出会い、感動は、人の生き方を大きく変えるチャンスでもあります。教育の世界におきましては、この出会い、感動というものを大事にしていかなければならないわけでございます

が、現在、学校では職場体験、進路指導、小学校におきましては総合的な学習の時間で、地域の皆様方のいろいろな方々に参加をいただいて、生き方をともに学ぶ機会として実践をいたしております。

市長具約の17に、学校ハローワーク事業というのが今回提案をされているわけでございますが、これまでと同様に、小学校、中学校におきましては積極的に進めていくことにいたしたいと思っております。特に先輩に学ぶということで、中学生につきましては卒業生の進路等についての体験等を各学校やっておりますので、これは大いに大事にしていきたいと思っております。

議長（杉原豊喜君）

28番富永議員

28番（富永起雄君）〔登壇〕

ありがとうございました。ノートというのは現代の病気だと思っております。とにかく小学校、中学校から早く手を打ってほしいと思います。

それでは、もう一つ教育問題ですね。

5月26日の佐賀新聞の「はいすくーる突撃隊」で、「やりくり上手、節電90万円」という新聞記事を見ました。今、武雄市役所も、何年か前から昼休み時間に消灯とか、冷暖房は7月とか12月に開始という節約をしております。鹿島実高が、そこまでやるのかというぐらい、昼休みとか掃除の時間スイッチを切りまくり、1年間で約900千円の節電、また節水も120千円という節減をいたしました。それで、そのときの学校の啓発活動は、校内放送、また電気使用量はグラフで掲示をいたし、呼びかけ表示などをし、節減のお金900千円は生徒に還元するという約束で始まったらしいです。

それで、私も、〔発言取り消し〕 3月分の電気代はどうだったろうということでお聞きをいたしました。それで、武雄市は1日に2,430千円ぐらいですかね、各小・中学校でなくて管財の方で払っておられるそうです。鹿島実高は約20%以上の節約をしておりますけど、小・中学校ということで武雄市でも節約すれば約15%ぐらいかなということで私は計算いたしました、約4,370千円ぐらいの節減になります。

そして、本年度の各小・中学校の学校営繕費、各校約1,000千円ぐらいだったと思います、旧武雄市に当てはめた計算でしたから。一応11校で11,000千円ですかね。小・中学校には行っております。節減で使えるとしたら、各校へ約400千円ぐらいの増が見込まれるんじゃないかと思えます。

教育長は、節約について私は質問をいたしますということで、どういう教育の中で指導ができるのかということを通告しておきましたから、よろしく願います。

30番〔「議長、議事進行」〕

議長（杉原豊喜君）

30番谷口議員

30番（谷口攝久君）〔登壇〕

今ちょっと発言途中でございますけれども、ちょっと休憩をしていただいて、発言の内容について議会の運営上の問題もございまして、休憩をお願いします。

議長（杉原豊喜君）

暫時休憩をいたします。

休	憩	10時16分
再	開	10時18分

議長（杉原豊喜君）

休憩前に引き続き再開をいたします。

28番富永議員

28番（富永起雄君）〔登壇〕

どうも済みませんでした、途中でとめて。私の発言中、二ートの説明の中で不適切な部分があったことを取り消しいたします。

議長（杉原豊喜君）

古賀教育部長

古賀教育部長〔登壇〕

鹿島市の高校の例を御紹介いただきましたけれども、常々子供たちに対しましては、物を大事にする心ということで、授業の中でも取り組んでいるところでございます。こういった心というのは、節水、節電、そういったことにもつながってまいりますので、従来もやっていることではございますけれど、校長会、あるいは教頭会、そういったところで状況等を説明して、子供たちにますますもってそういった取り組みをするよう呼びかけていきたいというふうに思っております。

なお、御参考までに、学校における水道料ですけれど、大体年間で20,000千円、それから電気料で35,000千円ほどかかっております。節水、節電をすることによりまして、教育予算に生かしていきたいというふうに思っております。どうぞよろしく願いいたします。

議長（杉原豊喜君）

ただいま、先ほど28番富永議員より発言の一部取り消しの申し出がありました。これを許可いたします。28番富永議員

28番（富永起雄君）〔登壇〕

私も金額のことで、ちょっと勘違いがありました。35,000千円ということで、私も29,000千円ぐらいと言っておりましたけど、あと水も20,000千円ということで、55,000千円ぐらいあるということですね。はい、よくわかりました。

それでは次に入ります。市長の具約22の安心、安全の街づくりということで質問をいたし

たいと思います。

さきの参議院本会議にて改正都市計画法が可決され、1年6カ月以内に施行されるそうです。これのまず内容と、現在ある大型店の床面積を教えてくださいたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

今回の都市計画法の改正案は、既に御案内のとおり、まちの都市機能が郊内に拡散することを抑えることをねらったのものであります。一番大きな改正点は、中心市街地の一部を除いた地域で大規模集客施設の立地が原則不可能となることでもあります。ここで言う大規模集客施設とは、床面積が1万平米を超えるショッピングセンター、1万平米が床面積の基準となります。武雄市内ではゆめタウン武雄店、これは1万7,000平米ありますけれども、これが該当することになります。

議長（杉原豊喜君）

28番富永議員

28番（富永起雄君）〔登壇〕

ということは、もう武雄で当てはめて考えるのは、大体、ゆめタウンが1万7,000平米ぐらいあるということですね。それを頭に入れてちょっと話をしたいと思います。

そしたら、1年6カ月という、もうあつという間に来るんじゃないかと思えますけど、第1次の東部開発が完了し、店舗はオープンしました。そのときの計画では、そちらが終わったら、こっちからいったら右側も今処理場の方の側も開発をするという計画でありました。しかし、あそこもやっぱり農振除外の地域です。また宅地地域で、用途地域を設定してない地域ということで、現在も制限なしということです。それで、改正都市計画法が施行されると開発できないんじゃないかと心配をいたしております。前の計画では学校や公共施設、福祉施設などがありました。この辺の問題を抱えたら、農振除外、また開発申請期間が1年6カ月以上かかるんじゃないかと心配をしておりますが、その辺のお考えはどうでしょうか。

議長（杉原豊喜君）

大石建設部長

大石建設部長〔登壇〕

お答え申し上げたいと思います。

東部地区につきましては、現在、制限なしという形になっておりますが、非線引き都市計画区域、準都市計画区域の白地地域という形になりますので、原則、不可ということになります。ただし、都市計画の地区計画決定ということによって立地することはできます。

少し詳しく言いますと、大規模集客施設については、用途地域の指定により立地可能。また、非線引き都市計画区域では、用途を緩和する地区計画決定でも立地可能ということにな

ります。それから、御質問のもう1点、病院、福祉施設、学校等につきましては、これも市街化調整区域については、許可の必要がございませんでしたけれども、今回はこれにつきましても、許可を必要とするというふうになっております。

議長（杉原豊喜君）

28番富永議員

28番（富永起雄君）〔登壇〕

詳しくどうもありがとうございました。

それでは、もう一つ、まちづくり三法の見直しということで、中心部での公共施設、共同住宅の建設を促し、中心市街地活性化法案も今度の国会で成立になるそうであります。そこで質問に入らせてもらいます。

去る3月26日ですかね、夜中の2時ごろ、市長はまだ知っとんされんかもわからんばってん、新町の市が買収をしておった田代酒造跡の外塀と柱が夜中の2時に不審火で燃えたんですよね。だから、私たちも熟睡をしておりましたし、サイレンもわからんぐらい消防車が来てですね。それは中学生か高校生か、女の人が勉強しながら、ちょっと便所に行ったら前が燃えているということで、119番をして、すぐ消防車が来て、消火をし大火を免れたところであります。田代酒造跡は古い建物で、平成14年3月に購入してから、もう4年がたっております。何の手も入っておりません。外からでもなかなか見えない。職員さんに聞いてみましたかというたら、いやもう一回行ったばってん、えすうして歩かれんよということで、何でと聞いたたら、もう根太は腐れておるし、床はぶかぶかで、ちょっとけがするけん大事やけん、富永さん行ったら危なかよと言われたけんですね、私も本当に中に入るのは怖くなりました。とにかくあそこは裏にはすぐ竹林があり、切ってありました。また横も古い建物です。また、前も今歴史的な旧家ということで、中村家の家があります。ということで、本当にそこで気づかずに燃えとったら、もう大変な大火事になっていたんじゃないかと私は思います。また、近所の方もサイレンも鳴らんやったけん、ちょっとわからんやったと。次の日朝来たら、あらほんなごとやったということで、もうびっくりしておりました。

あと市役所の方にお伺いしたら、早急に修理をし、パトロールをしますという返答があり、その辺がどのくらい前に終わったか、どのような修理をなさったか。そしてまた、パトロールもするという事で言われておりましたけど、どんなパトロールをどこに委託してされておられるか、ちょっと聞きたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

前田企画部長

前田企画部長〔登壇〕

お答えをしたいと思います。

3月26日の夜中の1時30分ぐらいに出火しまして、約30分ぐらい後に鎮火をしております。

被害につきましては、玄関の左の方の壁が一部焼けたということで、これについては、既に4月中に保険を適用しまして修繕をしております。

それから、火災の後、巡回、あるいはガードマンを頼みまして巡回等をしております。特にここは民家が隣接しておりますので、そこら辺の対応に考慮して警備をしております。

それから、7月以降につきましては、今回の補正で予算をお願いしたという状況でございます。

議長（杉原豊喜君）

28番富永議員

28番（富永起雄君）〔登壇〕

早速パトロールも、今度のまた補正でやってもらえると。しかし、私がちょっと思うのは、あそこは空き家ということで、人が全然住んでないんですよね、4年間ですね。ということで、いろんないたずらかなと私は思いましたが、とにかくそこ約10部屋ぐらい和室があるんですね。そこをリフォームするには、やっぱり床とかなんか抜けたり、根太が腐ったり、大変な事故になるから、立派にしてくださいとは私なかなか言えませんが、やはり旧家、とにかくその屋敷を残すために買収をした市ですから、少しぐらいはやはり手を入れて、またこの部屋が少しでもリフォームになれば、NPOの団体の事務所とかボランティア団体の事務所とか、また作業所などにできると思います。そして、人の出入りがあると、また不審火の不安は少しは減ると思います。そしてまた、酒蔵ではミニ物産館とか、特に近所のもとのすぎやさんもなくなって、ほとんど新町から下西山、上西山にかけてスーパーがないんですよね。だから、おばあちゃんたちもおじいちゃんたちもなかなか買いに行けんというて、車がないところ、家族のいないところはだれかさんに頼んで買ってもらうあれになっております。

そこで、その蔵をミニ物産館とかなんかに利用でもして、できたらなと私は思っております。そして、武雄町の公民館建設委員会というのがありまして、多分同じ名称だと思えますけど、武雄町の公民館をぜひ新町の田代酒造のところに建設をというお願いも約2年ぐらい前からやっておりました。そして今度の市街地活性化法案の適用で、結局、中心街に公共の建物は建てられると、促進をする法律でなっておりますから、その辺を可能かどうか、ちょっとお聞きしたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

前田企画部長

前田企画部長〔登壇〕

お答えしたいと思います。

この建物につきましては、先ほどありましたように、14年の3月購入以来、いろんな角度から検討がされてきております。そういうことで、昨年の議会の中で、先ほどありましたよ

うに、武雄の公民館を中心に複合施設をつくったらどうかということであっておりますので、現在、教育委員会の方でその検討がされております。一応それをまちまして、その後の対応をやっていきたいということで、それから財源等につきましては、もしそういうことになれば、特例債でも活用したいということで考えております。

議長（杉原豊喜君）

28番富永議員

28番（富永起雄君）〔登壇〕

どうもありがとうございました。前向きに検討をしてもらって、いい公民館ができたりすれば、また新町の方もにぎわいができると思います。よろしく願いしておきます。

次に、下水道について、ちょっと入りたいと思います。

きのうも上野議員から質問があって、合併浄化槽とか、その件はちょっと省略をいたしたいと思います。それで、私はまず農業集落の、結局、山内、武雄は人口割ということになって、また北方は水道料のあれでということになっておりますけど、合併協議会の条件の中で、やはり平成18年、19年度で検討をし、あと20年以降に統一の単価でやりたいという合併協議会の中では決定をいたしておりました。それを今どうのこうのという、私も聞く気はありませんけど、まず私はそれをおいて、まず武雄温泉駅の北口、今あそこはがけ崩れ工事が終わって、家が今3軒新しく建っております。そこで、また川端と同じ、結局、まだまだ下水が通っておりませんから、簡易くみ取り式の水洗になっております。平成19年に一応、川端地区は使用開始ができるようになっておりますけど、反対側の駅の方がいつごろになるか、その辺をちょっと聞きたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

大石建設部長

大石建設部長〔登壇〕

今回、区画整理事業の駅前通りの県道の工事スケジュールに合わせた時期になるということで、まだ時期については決定いたしておりません。

議長（杉原豊喜君）

28番富永議員

28番（富永起雄君）〔登壇〕

そしたら県道改良とともにやるということですね。

それで、今、山内の方は農業集落排水は完全に終わり、あと1カ所だけが今工事をなさっておられます。武雄の方も矢筈が終わり、今、川内地区に入りました。今2カ所目です。下水道の計画ではまだまだ農業集落排水をあちこちにするようになっておりましたけど、今後の計画ですね、ありますか。その辺をちょっと聞きたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

大石建設部長

大石建設部長〔登壇〕

今度の計画でございますが、昨日も御質問の中でお答えしましたとおり、新市の下水道整備計画の作成後、優先順位を決めて決定したいというふうに思っております。

議長（杉原豊喜君）

28番富永議員

28番（富永起雄君）〔登壇〕

そしたら、集落排水もまだ計画の中で順番でできるということですかね。再度確認します。

議長（杉原豊喜君）

大石建設部長

大石建設部長〔登壇〕

お答え申し上げます。

御指摘のとおり、計画をいたしますので、その中で優先順位を決めるということで、同じような形でいきたいというふうに思っております。

議長（杉原豊喜君）

28番富永議員

28番（富永起雄君）〔登壇〕

よくわかりました。そしたらまだまだ後になると思いますね。

そしたら、次の水道問題について質問いたしたいと思います。

まず、民間委託がどこまで行われているか。また今後、どこまで委託をされるかどうか、ちょっとお聞きしたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

伊藤水道部長

伊藤水道部長〔登壇〕

お答えいたします。

3事業体共通の民間委託としましては、ただいま検針業務について行っておるところであります。今回の予算におきまして、武雄市水道部の閉開栓業務の委託経費を計上しておりますので、これが可決されましたら、7月から民間委託に取り組みたいと思います。

この民間委託によりまして、平成19年から1名の職員の削減ができるものというふうに見込んでおるところであります。旧武雄市議会でも議論がなされました浄水場を含めた包括的な民間委託でございますけども、現段階で大まかに部内で計算しましたところ、30,000千円程度運営費が安くなるのかなというふうに思っているところであります。一方では、合併によりまして、5カ所の浄水場を運営することとなりましたので、水道部内で後継者等も必要になってきました。こういうことを含めまして、この浄水場の民間委託につきましては、も

う少し時間をいただいて、検討させていただきたいということで考えているところであります。

議長（杉原豊喜君）

28番富永議員

28番（富永起雄君）〔登壇〕

民間委託も7月から大分いくということで、30,000千円ぐらいの節約になるということで安心をいたしました。

それで、水道料金のまず統一ということで、ちょっと考えを聞きたいと思います。

いつごろ統一ができるのか。今、武雄が10トン当たり2,698円、山内が2,490円、北方が1,785円です。そこを考えて、どのぐらいの金額にいけるものか、その辺をちょっとお答え。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

さきに答弁いたしておりますとおり、水道審議会を設けて、その中で具体的に検討することとしております。

議長（杉原豊喜君）

28番富永議員

28番（富永起雄君）〔登壇〕

きのうそれは市長が回答なさっておられました。どうも済みませんでした。

それでは、次の石綿管の延長と鉛管対策ということで、ちょっと質問をしたと思います。

石綿管の延長はどのくらいあるのか。また、何年から始まって何年ぐらいで終わるのか。そしてまた鉛管の箇所数と何年で終わるのか、ちょっとその辺を聞きたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

伊藤水道部長

伊藤水道部長〔登壇〕

お答えいたします。

石綿管の延長ですけれども、1,410メートル今存在するということで把握をしているところであります。

この内容でございますけれども、山内水道で1,350メートル、武雄水道で60メートルということで把握しております。場所につきましては、山内水道については、県道嬉野山内線の車道の方に埋設をされていますけれども、旧山内町の方でお伺いをしましたところ、県道改修が予定をされたということで、それに合わせてということで、今日まで更新がなされなかったものであります。武雄市水道についても、踏切の下に入っておりますので、都市計画と合わせたということで、今のところ残っているところです。

鉛管につきましては3,828カ所、給水戸数にしては4,634戸でございます。これにつきましては、今回の予算におきまして30,000千円計上させていただいてまして、一応230カ所の更新ということを考えております。

事業の予定年度としては、鉛管については10年程度、現在考えているところでございます。以上でございます。

議長（杉原豊喜君）

28番富永議員

28番（富永起雄君）〔登壇〕

そしたら、石綿管は約1,410メートルですかね、何年かですれば終わると思います。鉛管の箇所数は、やっぱり3,800余あるということで、1年間に230カ所ぐらいですかね。やっぱり10年以上かかるという結果が出ます。とにかく財政の厳しい折ですけど、安全ということで、なるべく鉛管、石綿管の管は早く対策をしてもらって、おいしい水を、また危険でない水を配水してもらいたいと思います。

次に行きます。今度は競輪事業についてであります。

私、ちょうど6月10日、2チャンネルを見とったら、新武雄市長と語ろう会ということで、市長ともう1人の方の対談がございました。その中で競輪事業とか観光とか、いろんな問題点がはっきりわかりました。

そこで、まず、市長の考えは継続を絶対していくという強い意思があって、本当にまた詳しく調べられたかなと思うぐらい言われておりました。あそこをもしやめたら、解体復旧で100億円、人件費で50億円の補償をせんとだめだと。それが今は赤字、赤字と言いますけど、ふるさとダービーを何年かに一遍持ってくれば、とんとん収支いかれるということで、とにかくあとはむだ、無理をやめて、とにかくもうかる競輪場にしたいということと、また中央区の方の話がありましたけど、まだ私はそこまでちょっとわかりませんでしたけど、とにかく前向きに考えておられました。ということで、私の質問の方に入りたいと思います。

まず1番目に、きょうが13日、きょうで決勝戦ということで、10日から記念競輪が始まっております。私も部長とか課長に聞いたら、びっくりするぐらいの売り上げを、これは本にも載っております。85億円ですよ。今までいきなりこんな売り上げを載せたときはありませんでした。大体、記念競輪は60から70億円ぐらいいくのかなということでなっておりますけど、最近はずごい競輪場が出て、記録をつくったりなんかしております。記念競輪ですね。G1でなくG3です。ということで、ちょっと私も今度の目標を聞いて、そして場所、サテライト、いろんなところで協力、特に電話投票をちょっと詳しく聞きたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

松尾経済部長

松尾経済部長〔登壇〕

お答えいたします。

6月10日から開催をしております武雄記念競輪でございますが、議員おっしゃっておりますように、85億円を目標に、今頑張っております。昨日まで3日間、一応売り上げておりますけども、3日間で67億円を売り上げておりますので、この目標は何とかクリアできるんじゃないかと思っております。

それから電話投票の件でお尋ねでございます。電話投票につきましては、施行者側も経費が3%ぐらいで低いということで、これは施行者側にとっては経費が低くて大変いいということをおもっておりますので、今後とも電話投票の普及拡大に努めていきたいというふうに思っております。

議長（杉原豊喜君）

富永議員

28番（富永起雄君）〔登壇〕

3日で67億円ですね。本当にすごいですね。もう今までも大体60億円とか70億円の間というぐらいですね。そしてメンバー表を持ってきました。決勝には地元の荒井選手だけが乗っておりますけど、決勝に乗らなかった吉岡選手とか、小野選手ですね、普通は決勝に乗らなかったら帰るんですよ、大体ですね。それが最後まで残っておるということは、もう本当に今度競輪事業課の努力が実ったんじゃないかと私は思って、そして売り上げが多分90億円ぐらいいくんじゃないかという予想ができます。ということで、本当に素晴らしい今度の記念競輪だったなと、なるように応援をいたします。

それで、今電話投票ですね。今回は約8億円ばかりということで、武雄も持っておられますけど、やはり今言われたとおり、売り上げの20%が収益になるんですよ。ということで、電投をふやせばいいんじゃないかと私はちょっと思っておりますけど、今は少しでも努力をして、電投をやるという返事がありましたから、次に入ります。

それで、あと事故金のことで、ちょっとお伺いしたいと思います。

金額は100円から2千円ぐらいなんですよ。しかし、件数が多いんですよ。ずっと事故金を調べてみたらですね。ということで、宮崎の場外とか、あと場外関係、それから溝辺の場外、それから武雄の本場、サテライト、四つのあれを聞いても、やはり件数はあります、金額が少ないですけど。やはりこの事故金というのは、絶対なくさないといけないと思うんですよ。その辺の対策をどう考えておられるか、ちょっとお聞きします。

議長（杉原豊喜君）

松尾経済部長

松尾経済部長〔登壇〕

お答えいたします。

事故金の発生につきましては、ほとんどが発売締め切り間際の車券、それからお金の受け

渡しのときに起こっていると思っております。事故の防止策につきましては、毎日朝礼で現金、車券の受け渡しにつきましては、注意を喚起いたしまして、確認徹底をいたしております。

それから、万が一事故が発生いたしましたときには、その原因を究明いたしまして、再発防止の意識づけの徹底を、それから指導を行っております。

議長（杉原豊喜君）

28番富永議員

28番（富永起雄君）〔登壇〕

今度、総体で自転車競技があります。来年の8月9日から12日ということで、自転車競技は武雄の競輪場でやりますけど、ロードレースも多分この武雄市であると思います。コースはどんなコースになっているか、私も全然見ていませんから、ちょっとわかれば教えてください。

議長（杉原豊喜君）

古賀教育部長

古賀教育部長〔登壇〕

お答え申し上げます。

高校総体の自転車競技ですけど、ロードですが、まず日程は議員おっしゃいましたとおり、8月9日から12日までです。トラックレースが9日から11日まで。それから12日が個人のロードレースが行われるわけでございます。

ロードレースですけど、朝日小学校の前をスタートしまして、若木、それから武内、それから武雄の4町の方で一般公道を使って行われます。1周約21キロですが、それを左回りに5回回るといような特設コースで行われます。

具体的には若木から武内に通るときには、本部山中の北中の前を通っていきます。それから武内から武雄の方に入りますときは、長谷、それから赤穂山トンネルを通過して、それから中の道を通って朝日小学校の前に、そういうコースです。これはコースはまだ最終決定ではございませんで、近々国の中央委員会の方で決定をされます。

議長（杉原豊喜君）

28番富永議員

28番（富永起雄君）〔登壇〕

ということは、武内、若木地区の方で、向こうで車の余り通らない公道でやるということですね。ということは、公道はやはり通行どめとかなんかならんですよね。その辺をちょっと。

議長（杉原豊喜君）

古賀教育部長

古賀教育部長〔登壇〕

お答え申し上げます。

部分的に一時的に交通規制というのは出てこようかと思いますが、それはコース等が決定してから、また関係機関とも具体的に協議をして、その対策等を協議していくということになります。

議長（杉原豊喜君）

28番富永議員

28番（富永起雄君）〔登壇〕

そしたら次に入りたいと思います。次は、わかもんプロジェクトについてということで、目的ですね、これはどのような趣旨でつくられたか。ちょっと詳しくこの辺をお聞きしたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

前田企画部長

前田企画部長〔登壇〕

このわかもんプロジェクトにつきましては、武雄をよくしたいということで、市長の方もそういう気持ちを持っておられましたので、4月に募集を開始しております。このわかもんという意味につきましては、年齢が若いというだけじゃなくて、気持ちが若いということで、現に20代から50代、60近い人もいらっしゃいます。現在、職員が42名、それから一般の方が45名で、約90名近くのメンバーで構成をしております。

議長（杉原豊喜君）

28番富永議員

28番（富永起雄君）〔登壇〕

そしたら、私も安心をしました。わかもんやけんですね、また市民の提案ということで、ここに載ってありましたけど、私も還暦を迎えて、あらもうこんなにもちょっといけんかなということになっておりましたけど、テレビを見たら、本当にいろんな方が見えておられて、その中で、私も市民の一人として、昔から夢があったのを一つか二つ言って、市長にちょっと聞いてもらいたいと思います。

武雄の温泉のイメージですね、やはり昔はげたはいて、おやじ、おふくろに手を引っ張られて、ずっと温泉行っておりました。ふたはかかってなくて、湯は流れて、湯気が出ておりました。ああ本当にあのところを見たら温泉だなという雰囲気があります。何とかして、今から新幹線、約5メートル以上高架の上を多分走っていきます。となると、温泉の方は丸見えなんですね、楼門から何からですね。ということで、湯気を出す方法を何とか考えて、道路の側溝がありますから、そこに流す方法はないかというあれもちょっとあります。その辺をどうか少し考えてもらいたいなということと、それから、テレビの中で、ちょっと見たとき、

温泉の楼門から新館の間、あそこは駐車場になっているということ。あれはちょっと適せんという強い口調で、私も前も何回か行って、やはり一番気にしております。温泉のお客としてですね。しかし、雨降りなんか、目の前までぱっと入っていくけん便利だなと思ったこともありますけど、やはり昔あそこも子供のころは、泉水があって、庭園がありました。ということで、昔の面影をつくってみたいなという夢もあります。

市長の言葉を聞いて、今度株主総会が20何日かにあります。必ず提案をして、あそこに池と庭園を温泉の方につくってもらいたいと思います。ぜひ皆さん方の力をかしてもらえれば、多分できると思います。

あとは駐車場です。駐車場も前は、桜山の広場に3階建てという夢もありましたけど、とても景観をなくします。ということで、あともっと奥の方の清水病院の方の、あっちの方に土地を求めたり、蓬莱駐車場なんかがあいておりますから、そこなんかに温泉の客はとめて、歩いて町中を散策 散策じゃなく、やはり店の人も、ああ今から温泉のお客さんばいね、帰り寄んさろうかわからんばいねと。遅うまであけとこうかという人もおられると思います。また、温泉通りもいろんなイベントをしておりますから、多分歩いてこられたら、本当に温泉も、また町も活性化になるんじゃないかと思っております。それも私の提案として、ちょっとお聞き入れられたらうれしいんですけど、どう市長はお考えをお持ちでしょうね。ちょっと早口で済みませんでしたけど。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

2点御指摘があったと思います。まずは湯煙です。これも私もちょっと考えとったんですけど、温度が51度で硫黄分が少ない。成分の問題で、そもそもそして湯量の問題です。したがって、煙は上がらんらしかですね。ということで、これはちょっと無理、いいですかね。その上で私は楼門の中、これは基本的には議員と意見が一致して、極めてうれしく思っております。私は周辺部に駐車場をつくって、原則つくって、そこから私が好きな言葉で「さるく」、長崎で「さるく博」というのがあってはいますが、さるく。そういうふうなのがあれば、そこに地元の商店街の活性化にもつながると思いますし、私は後半の議員の意見には全く一緒であります。頑張ってくださいと思います。よろしく願いいたします。

議長（杉原豊喜君）

28番富永議員

28番（富永起雄君）〔登壇〕

ありがとうございました。これで力がわいて、今度、株主総会で市長のお墨つきをもらったからということで、頑張ります。とにかく中を本当に、せっかく新館ができて、利用も余りないんですよ、そこはですね。やはり本当に昔ながらの風情にしたらいいなと思ってお

ります。

もう一つありました。4年前、当時建設部長であった末次さんがおられたときに、おっしゃったのは、打ち合わせとかいろんなことになって、六角川と武雄川ですかね、堤防の上をサイクリングロードの建設にということで、自転車のまちにすればいいなということで、大分進めておられましたけど、途中で予算かなんか知りませんが、没になったということで、私も悔しい思い、また末次部長も悔しい思いをなされました。しかし、やはりまたこれもテレビなんですけれども、この間、田園都市、学園都市のつくば市のあれがちょっと映りまして、私も前もつくば市のことを何かで聞いたり見たりして、あそこがサイクリングで自転車を無料で、企業からの無料なんです。そのかわり広告がついております。あととまるところも、自転車にもついております。ということで、無料でもできるなということがありましたから、これもやはりもう一回再度計画を、サイクリングロードをつくってみたいかがでしようか。ということももう一つだけ、わかもんプロジェクトの市民の提案ということで。

議長（杉原豊喜君）

前田企画部長

前田企画部長〔登壇〕

お尋ねのこの計画につきまして、平成9年ぐらいに、当時の建設省武雄工事事務所の方と協議がされた経緯があるようでございます。そのときは六角川、それから武雄川を中心に計画があったようでございますが、構造的な問題とか、大きな財源の問題もあったようでございますので、現時点では事業化については難しいという判断をしております。

議長（杉原豊喜君）

28番富永議員

28番（富永起雄君）〔登壇〕

そしたら、やはりまた再検討をしてもらって、本当に安全なサイクリングロードのレースができると思います。とにかく私たちがいろんな運動をしてみたいと思います。

それで私の質問を終わりたいと思います。